

今年は「岐阜グランド・ホテル」にて、ゆかた例会が開催されました。
ご卒業される4名の講師に各々のOJBの歩みを
当時の思いも含め対談形式にて、ご講演いただきました。



ご講演後にOJBに対する
感謝の思いと会員に向けた
エールをいただきました。



第49年度 8月最終ゆかた例会：演題「OJBをふりかえって」

講師 第30年度入会 日比 敏晴 会員 第34年度入会 吉位 栄七 会員
第37年度入会 川瀬 由香 会員 第38年度入会 佐竹 紀皇 会員

とき 平成27年8月10日(月) **ところ** 岐阜グランドホテル **出席者** 49名

自己研鑽の場、それが「OJB」

OJB ひろば

一般社団法人
大垣青年重役会



第50年度 第1号 平成27年 8月25日発行
URL▶ <http://www.ojb.jp>

第49年度スローガン

次の舞台に上がろう

ステージ

とことこ まっすぐ



「抹の寂しさ と感謝の念」

鳥居 清



今年度も、大変お世話になりました先輩方のご卒業に立ち会うことが出来、一抹の寂しさと共に感謝の念がこみ上げてきております。入会から年度別にOJBとの関わりや思い出・思いを語る新しい趣向を用いながら、私自身もその頃を懐かしみ思い返しながら拝聴しておりましたが、やわらかい雰囲気の中にも強いメッセージ性のある貴重な講演でした。経営者・人間としての師を求めて体当たりで先輩に食らいついていかれたお話・全てが手探りの中で役員経験談・同期や仲間との大切さ・ご自身のキャリアを上手く活かされての立ち居振る舞い：OJBが自己研鑽の場であることを改めて教えていただきました。聴講された会員も入会当時のアツい気持ちに立ち返ることが出来たのではないのでしょうか。御酌に上がった際に「注ぎに来た奴は卒業まで絶対に居ろよ！」と激励の言葉をいただきました。『お付き合い』ではなく『付き合い』をしようぜ！と声をかけてくださった時の嬉しさは今も変わりません。ある意味「ショウワ」な付き合いを通して活動させていた中いろいろなことを学ばせていただきました。四者四様(?)のスタンスで重責を務め上げられ運営に深くかわられた、会に人にアツい「思い」をお持ちの先輩方。お会いする度に背筋がピンと伸びます！ご卒業後も変わらぬ指導をいただきましたくお願いを申し上げます。

「ご卒業おめでとう ございます。」

浅野 信哉



日比先輩、吉位先輩、川瀬由香先輩、佐竹先輩ご卒業おめでとうございます。私が会に在籍して14年、4人の先輩方には本当にお世話になり、いろいろなことを教えていただきました。ありがとうございます。

日比先輩！初めての思い出は38年度副会長をされているときでした。例会のお礼のことば。事前に講師のお話を聞いていろいろのことが思いつくくらいうまくまとめられた感動的なお話される姿に憧れを抱きました。私の中でのお礼のことばのお手本は日比先輩でした！

吉位先輩！第40年度は執行部を二階させていただきました。第40年度は周年の役員も兼任され大変多忙を極められていたはずなのに、吉位さんの仕事をこなす安定感。そして黙々とこなす姿勢と反対に、ジグザグのカーブ。ギャップによりさらに人の魅力が増すことを教えていただきました。いつも意識するようになっています！

川瀬由香先輩！私の同期、37年度入会組での初卒業生。川瀬さんとは第36年度の新入会員説明会ではじめてお会いしました。なんと！金髪でした！どんな方なんだろうと思っていましたが、人のいいところを伸ばす達人。川瀬さんが委員長をされているときに副委員長として務められた方々の変わりようを見ていと思うわ「え」と声に出るほど。よく人の話を聞き安心感を与え、そんな場面をたくさん見せていただきました。私も副委員長につければ伸ばしてもらえたかな。

佐竹先輩！第38年度私が会員副委員長の際に入会されました。こんな私に行事のたびに電話で「大丈夫ですか」「遅刻しないですか」「これ要りますか」「これはいいように」など言われ思うところもあったと思いますが、「はい」「わかったよ」など私に合せて対応してくださいましたが、アルコールが入ったときに「おれはな、人に合わせるのがうまいんや」とおっしゃっていましたね。その通りです。

OJBをご卒業され特別会員になられました。まだまだ先輩方とは研修を積んでいきたいと思っています。今後も毎回例会出席いただいで研鑽していきます。あらためて、よろしくお祈り致します。

NEWS LINE

第49年度 8月最終ゆかた例会

1

ゆかた例会懇親会・2次会

3

第49年度を振り返って

4

第50年度 北野新会長インタビュー

7

四季の会・今月のドネーション
お知らせ etc

8

特別会員認証状授与式



吉田会長 最後の挨拶
49 年度締めくくりの言葉をいただきました。



吉田会長よりご卒業される 4 名に特別会員認証状が授与されました。
(左から 佐竹紀皇 会員、吉位栄七 会員、吉田会長、日比敏晴 会員、川瀬由香 会員)

次年度への引き継ぎ



長屋直前会長ありがとうございます。
有効に活用していきます。

長屋直前会長より プロジェクト授与



北野新会長 初めての挨拶
50 年度に向けて語っていただきました。



会旗が、しっかりと 49 年度吉田会長から
50 年度北野新会長へと受け渡されました。

ゆかた例会懇親会

講演終了後、岐阜グランドホテル内にて、ご卒業される方々と各会員が、会の思い出をふりかえり、年度の慰労も含め、皆々が楽しい時間を過ごしました。普段は研修という時間を共有しておりますが、ゆかた例会の懇親会は、リラックスした中で執り行われ、みなさん絶えず笑顔で、笑い声が飛び交いました。



渡部歴代会長に乾杯のご挨拶いただきました。



渡部歴代会長の乾杯で懇親会がスタートしました。第49年度の締めくくりと第50年度への新たな思いを胸に乾杯!! 楽しいひと時が始まりました。



羽田歴代会長に中締めのご挨拶いただきました。



リラックスした中で懇親会では、年度の慰労と新年度へ向けた会話で、親交が深まりました。ご卒業される皆様と思い出をふりかえりつつ、これからに向けてのお話で盛り上がりしました。

皆々が感謝の気持ちを込めて、「胴上げ祭り」が開催！



吉田会長お疲れ様でした。



日比会員お疲れ様でした。



吉位会員お疲れ様でした。



佐竹会員お疲れ様でした。



川瀬会員お疲れ様でした。

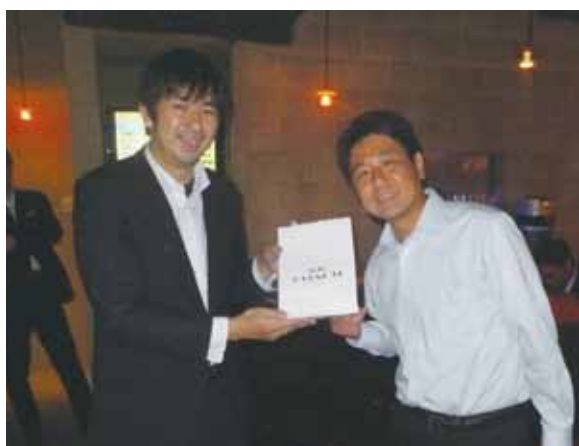


と き 平成27年 8月10日(月) ところ SEASON 出席者 36 名



49 年度最後の司会をしていた
だいた親睦委員長 大平委員長

ゆかた例会2次会
2次会は、落ち着いた雰囲気
の「SEASON」
にて和やかに始まりました



近沢幹事長の中締め挨拶の後、第49 年度役員より
プレゼントが吉田会長に贈られました。



ひと時の歓談後、日比歴代、吉田会長、佐竹会員
カラオケにて、多に盛り上がりました。



所監査役の乾杯で
はじまりました

第49年度、役員の皆様から、1年間の振り返って、ご感想をいただきました。

「無知がもたらす予期せぬ奇跡」 会長 吉田 大助

年度の始まりに、スローガンと役員メンバーについて、幹事長と話していました。「今年の役員には会長をはじめ独身が多いから、年度内で、誰か結婚できたらいいね(笑)」「あるかもよ。まさに次のステージ(笑)」って、半分冗談でしたが：まさかの！（と言つては失礼ですが）加納例会幹事の入籍！嬉しい報告に泣きました。（..）

目立つて次のステージに上がった役員が多くて驚くことの多い一年でした。長屋直前。事業を譲渡され、大学へ！ 上野会員委員長のワインアドバイザー試験合格！に、清水会員副委員長の独立！税理士事務所立ち上げ！そして、近沢幹事長の市議会議員選挙挑戦！もちろん他の役員もそれぞれが次の舞台に上った（決意した）と思いますが、人生の大きなポイントになる出来事と共に49年度のステージを二緒できたことを、とても幸せに感じています。

私自身は相変わらず、なかなかうだつを上げられませんが（笑）、周りの皆様のおかげで、この素晴らしい研修団体「大垣青年重役会」の第49年度という舞台での役割は全うできたのではないかと思います。無事ここに、カーテンコールを迎えられて、ほんとうによかったと思っています。

45年度の幹事長当時の、この、一年を振り返つての感想文で、アレハンドロ・ゴンザレス・イニャリトゥ監督の映画「BUTIFUL」について書きました。49年度会長を拝命した今年度、同監督の「バードマン」あるいは（無知がもたらす予期せぬ奇跡）がアカデミー賞を受賞。どちらも限界まで追い詰められた男の話ですが、大きな違いは、前作はどちらかというと悲劇であったことに對して、今作は喜劇だということです。

あの時、「結果がどうであれ真剣に生きる」と前向きに捉えられた自分に気づき、感謝が溢れだした私が、今、人生を笑える強さと、それでも次の舞台へ上がる勇気を手に入れたこと。そこへ導いてくださった皆様へあらためて感謝が溢れます。無知ゆえに飛び込めたOJBという舞台で、救われ、教わり、感じて、学んで、つながって、一人では決して味わえない多くの奇跡を経験できました。今年度で言えば、事業すべてが、その内容、参加人数においても、私の予期した以上でした！役員の皆さん、会員の皆さん、講師の先生方、ご助力いただいた先輩方、ありがとうございます！そして、ご家族の皆さんに、会社の関係者の方々に感謝。・・・私は幸せです！（..）

たくさんの方の奇跡の中、学んだことは多すぎますので、最終ゆかた例会でお話しました、終戦時の内閣総理大臣、鈴木貫太郎の遺訓を、最後にひとつの記念とさせていただきます。

「正直に腹を立てずに撓（たが）まず励め」

そして思わず追記。

——とこまっすー

何度でも言います。確かに期待はしましたが、結果的にその期待をはるかに超える、奇跡に満ち満ちた一年でした。本当にありがとうございます。

——自分が動かなきゃ変わらないだろ。さあ、次の舞台に上ろう！

「第49年度を振り返って」

副会長 北野 英樹

役員は通算5度目となりましたが、やはりそれぞれの立場で、感じることも、考えることは違います。今年度は副会長という役割を経験しながら、会長のそばで勉強させていただくという機会をいただきました。今年1年間、副会長という部分は経験させていただきましたが、吉田会長を見ていても、「会長」という立場は会長になつてみないと分からないんだろうなと感じることも度々ありました。想像では得られない部分が経験にはあります。来年度を楽しみにしていきたいと思っています。

第49年度はいろいろな事がありましたが、役員執行部をはじめとした皆様のおかげで有意義な経験とすることが出来ました。そして、1年間、楽しく過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

「過去、現在、そして未来のステージへ」

直前会長
長屋 是通

率直にこの一年を通しての感想は、今まで気づけなかった事を様々な経験によつて二つの気づきがあった。

例会や各担当のさまざまな研修会など、吉田会長や近沢幹事長を始め執行部、役員皆さんの頑張りのおかげで大変有意義な一年となりました。しかし私にとりましては、今年度はより多くの会員の方々と話をする機会があり、会や仕事に對しての考えなど多岐にわたる話ができることが一番の研修でした。私事で大変恐縮ですが、この大垣青年重役会に入会させてもらえる機会になりました創業時の事業を昨年11月に譲渡いたしました。主にこの事業でしか働いた経験の無い自分にとっては大変大きな節目の年に直前会長という、言わば会を一步引いた視点での機会をいただきました。つまり私にとって今年度は会社経営や会をもう一度初心に戻り、再スタートする年度でもありました。人生80年としてすでに私は折り返しを過ぎています。ギトギト&トゲトゲ&イケイケの20代、少し社会をわかり始めたけどまだまだイケイケの30代、体力が徐々に衰え、色々と壁にぶち当たりながらも少し今後の人生を考え始める40代。そして重役会の卒業は50歳です。他の会と違い卒業まで少し長いのは、自身の考えをまとめる為にすこし長めに時間を与えてくださっている先人の教えがあるのかも知れません。それぞれのステージにはそれぞれの意味があり、それを着実に経験して今がある。まさに今年度スローガンが少しだけ理解できた気がします。

もうひとつの気づきは人生バランスが大切だということです。仕事、社会、家族、遊びどれも、偏らずバランスよくこなすことが最も自分にとっての幸福であり、喜びであるということです。

色々と気づきを与えていただいた吉田会長はじめ、49年度関係者の皆様に本当に感謝いたします。一年間ありがとうございました。

「第49年度を振り返って」

監査役 所研二

吉田会長を始め、役員の皆様、会員の皆様には1年間大変お世話になり感謝申し上げます。

吉田会長から、49年度の監査役にお話を頂きその役割からどういった姿勢で執行部会・役員会へ望むべきかを考えていた事を思い出します。特に役員会では特定の委員会を担当していないという事で一步ひいた状態で進行状況を把握するよう心掛けました。執行部会で精査したつもりでも見落としがあったり、役員会後に気が付いたりする事もありまだまだ研修しなければと再認識した1年でした。

役員を経験する毎に思うのは各行事を過去の経験を踏まえ企画するのですが、大枠は同じでも会長はじめ役員の方々が変わると以前とは違った意見も出てきたりして議論し形にしていくな事には新たな気付きを頂きました。想定外の事が起こったり、急な変更に対応して何とかやり遂げた時の達成感や時に失敗し反省する事も含め全てが良い経験になりました。

また、一緒に役員をやる事により更にコミュニケーションを取り想像していたのとは違った一面を見る事も楽しくもあり貴重な時間でした。1年間本当にありがとうございました。

「挑戦し続けること」

幹事長 近沢 正

第49年度会長であり親友でもある吉田会長の想いを実現する為に、会長の一歩近くで働く。その決意を固めるのに時間は必要ありませんでした。即答でお請けした事が昨日の事に思えます。そしてそれから1年（正確には1年半でしかうか、自分の決断が間違っていなかったと確信しています。この役をやらせていただけて本当によかった。

会の為にどれだけ事ができたのかは分かりませんが、素晴らしい49年度を過ごす事ができたと自負しております。これもひとえに役員の皆様、そして会員の皆様のおかげです。皆様からの暖かいご支援やご指導のお言葉ひとつひとつを、私自身の血肉とする事ができました。

年度が終わりを迎える今、感謝の気持ちがあふれてきています。この9月OJB50年。ここまで会を大切に育ててきてくださった先輩方、お世話になりました。

「大垣青年重役会のみなさま、本当にありがとうございました。」



研修委員会にて、議論と検討をする風景

「第49年度例会幹事を振り返って」

例会幹事
加納浩二

第49年度は吉田会長より例会幹事の役を仰せつかりました。今まで広報関係での役員をさせていただいた経験しかなかった為、今回の例会幹事は色々とは違った経験をさせていただくことが出来ました。年度が始まり最初の例会の9月例会が無事に開始した時には何とか始まったと安心しました。

1年間の例会の準備を行ってきた、無事にすべて終える事が出来て良かったと思います。

役を与えて下さった会長、またご協力いただいた役員の方々と、ご参加いただいた会員の皆様のおかげで良い1年間を過ごさせていただきましたと思います。ありがとうございました。

「居心地の悪いのも悪くない」 広報幹事 河合 孝浩

昨年に広報渉外委員長をさせていただき、そのまま広報幹事として初めての執行部を経験させていただきました。広報委員会と親睦委員会の担当幹事として書類の作成や委員会活動をすすめていく上で、今年度のスローガン「次の舞台に上がろう」とことごとく「すー」にあるようにそれぞれが今年度1年間を終えた時に、次の舞台に上がっているか？を考えて1年間を過ごそうとしました。なぜならスローガンにはその年度の会長の思いが凝縮されていると思うからです。自分を次の舞台に上げるため、見方を変えたり、感情を表に出したりしました。そのため第48年度はとても居心地の良かった役員会が、今年度は居心地の悪いものになりました。ただこれも不快の領域に自分を置くことで自分の幅を広げようとした結果です。このような経験をさせていただいたのも吉田会長を始め、執行部・役員の皆様のおかげです。どうもありがとうございました。

「1年間ありがとうございました」

会計 田端 隆

今年は吉田会長から会計というお役目をいただきました。吉田会長とはこのOJBを通して知り合えた私の数少ない友人だと思っていましたので、誘っていただいた事を意気に感じて快諾しました。はい。後悔はしてません！研修になりました！なんて言いたいです。がめっちゃ後悔しています。研修になったプラスよりもOJBが楽しくない事のマイナスのほうが私にとっては相当堪えました。ただでさえ、慣れない会計業務をゴツゴツとしかも相当な責任を負って。苦手な分野にチャレンジして克服するよりも良い分野を更に伸ばすのが好きな私には過酷な2年でした。それでも、所監査役をはじめ、近沢幹事長など全体的にバックアップしていただけたお陰でなんとか終われそうです。実はこの感想文を書いている今もこれから監査役と会計業務の予定です。本当に会計はゴリゴリでした。

「感謝」

研修委員会 委員長 片桐 大介

私が今年度、研修委員長を務めさせていただきました。やばい何といつても人との繋がりのありがたさです。研修委員長として研修委員会に担当例会と、講師の先生をオファーしセッティングする機会が多くありました。そんな時、会の仲間の協力はもちろんのこと、学生時代の友人や家族、友人の友人といったように、今まで自分の人生で繋いできた多くの人々との縁を生かすことができました。今まで仕事方面、友人方面、趣味の方面など個々に存在していると思っていた人との繋がりが結局どこかで繋がって、そこから更に広がっていくのを感じました。これは今回の研修委員会の仕事に限らず、今後のありとあらゆる場面において私の武器になってくれるものと確信しました。そのためにも今後、人との繋がりをより強固にそして、より大きく育てていけるよう努めたいです。最後に、今年度の研修委員会への皆様の多大なお力添えに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



初の試みとなったボウリング大会で、役員から2人も入賞者が出ました。

「自分の中の宿題」

会員委員会 委員長 上野 和幸

49年度のスローガン「次の舞台（ステージ）に上がろう」とことごとく「すー」の様に自分はこの1年で次のステージに上がったのだろうか？振り返れば反省ばかりで、とても上がったとは思えない。3月時点で来期の新入会員確定人数が0人だった時には、8年間やめていたタバコに手を付けて、やさぐれてしまった。配達の手内では尾崎豊と永ちゃんとか大輔ばかり聞いて、世間に背を向け裏通りばかりを歩いていた。でも、そんな状況の中、結果として8名の新入会員を迎える事が出来たのは、会員の皆様のおかげだし、49年という重役会の歴史のおかげだと痛感している。何よりも、どうしようもない私を辛抱強く直接指導してくれた加納例会幹事、文句つ言わずついてきてくれた清水会員副委員長には感謝の念しかない。お二人それぞれが結婚、独立、という次のステージに上がられた事は大変喜ばしい事だし、幸い私は50年度も役員をやらせて頂けるので、自分の中の宿題として50年度中に次のステージに上がりたいと思っている。本当に1年間ありがとうございました。最近の手内BGMのブームは相田みつもと金子みすずの朗読集です。

「第49年度を振り返って」

会員委員会
副委員長 清水 裕雅

OJB入会3年目にして、初めて役員をさせて頂きました。1、2年目には知らなかった、会の運営が、役員になったことでわかりました。例会をはじめ行事の出欠ひとつにしても、迷惑をかけていたのだと気づきました。行事においては、役員の方々が多くの時間をかけて準備をし、一般会員は研修ができるのだとわかりました。

役員になり、ほとんどの行事に参加したことで、OJBの良さを知ると共に、多くの諸先輩方との交流もできました。OJBに対する熱意を感じましたし、会員委員会としては、新入会員獲得に尽力して頂きました。第49年度役員の皆様、会員の皆様、1年間ありがとうございました。今後もOJBでの活動をおとして、いろいろな学びをしていきたいと思います。よろしく申し上げます。



合同忘年会2次会で、語り合う一コマ



普段は、撮影する側の広報のお二方が、写っている珍しい一枚

「第49年度を振り返って」

広報委員会
委員長 田中 真奈美

吉田会長をはじめ、執行部、役員の皆様、会員の皆様、一年間、ご協力、ご指導いただき本当にありがとうございました。

初めての委員長という役は、自分のキャラクターでないもので、とても不安でした。そんな思いは、小林副委員長にとつて、頼りなく感じられた事だと思えます。大変申し訳なかったなと思っております。しかしながら自分にとつては、性別や世代を超えて一緒に研修させていただき、気づきの多い一年であり、悩みや想いを共有できる仲間がいるという事を実感できる一年となりました。本当に有難く感謝しております。今年度の「次の舞台に上ろう」という、スローガンが達成できたのではないかと思います。ますます、地域社会や後世の役にたてるよう、実践を通じて、自己研鑽につとめていきたいと思えます。最後に、吉田会長、本当にありがとうございました。

「第49年度を振り返って」

広報委員会
副委員長 小林 諒士

一年間広報委員会副委員長をやらせてもらえて感じた事は沢山あります。振り返れば長いようで短いような、あつという間でした。もともとパソコンは苦手だったので、吉田会長に頼まれた時は不安でしたが失敗しても大丈夫と言って貰えて苦手な分野をやる事により今年のスローガンでもある「次のステージに上ろう」と自分で思いでこの一年間自分なりに頑張っていました。いつも委員長である田中委員長、そして広報幹事の河合さんには本当に助けて貰いました。自分はホームページの更新がメインと写真を撮ると言うことが主な仕事でした。ホームページ更新の時には、忙しいのに無理を言つて河合幹事にホームページの更新を手伝つて頂き本当にありがとうございました。例会やその他の行事では田中委員長にも色々教えて貰い頑張れました。ほとんど田中委員長や、河合広報幹事任せになつてしまいましたが自分もこの年間を通して成長出来たと思っております。今思えば吉田会長のお陰で成長できたと思っております。本当にありがとうございました。自分は「人間は一人では生きて行けない」と思っています。周囲に支えられて生きている事を忘れてはいけません。ありがとうございました。

「感謝の二年」

親睦委員会 委員長 大平 晃嗣

当初、私のような無為無能な人間が委員長という役目を軽々しく受けてしまった事、前回の役員時に何も学べなかった事を激しく後悔しました。行事をこなしていく度、自分の愚鈍さによつて役員の方々にばなした事、慙愧に堪えません。特に目立った特技も無く、会話のセンスも持たず、知識も教養もゼロ、人前で話せば絶対に囁む、空気も読めず、ゴルフも未経験、人を楽しませる能力に關しても著しく欠如している、いわば「欠陥品」。本当にこんなダメ人間が役員を続けていて良いものか？なぜ吉田会長はこんなボンコツに委員長という役目を与えたのか？こんな思いをする事が本当に研修になるのか？やっぱり無理だ！と途中で投げ出したくなり、己の無能さを棚に上げ、行事の少ない他委員会を恨めて本心に良いものか？居ても居なくても「緒ならいつそ辞めてしまった方が良いでしょう！」と自虐的になった時期もありましたが、一年を通じて、皆さんの前で話す機会を持てた事、どれだけの人に助けられているのか分かつた事、とてもいい経験になりました。そして何より副委員長である「川瀬竜也」という人間に支え、育てられ、深く関わりを持てた事が49年度一番の収穫でした。感謝してもしきれません。改めて自分の身の丈を思い知り、何が欠けているか、大切にすべきものは何なのか？という役員をやることで気づきをいただいた、感謝の年でした。皆様、本当にありがとうございました。

「段取り」

親睦委員会 副委員長 川瀬 竜也

私はこの一年間、親睦委員会を通してさまざまな経験をさせていただきました。特に学んだのは段取りの大切さです。企画する側に立つてみるとそれは、今までに考えたこともない大変な準備があることと思ひ知らされました。担当する行事に対し、目標を定め、案を練り、資料を作成する。また多くの人から色々な意見を聞き、準備を進めながら、当日の想定外のアクシデントにも備える。企画する側とはなんと大変なことか。ただこのことは普段仕事をする上でも大変重要なことに気づきました。物事を成功させるために「段取り」がいかに重要なかをこの一年間で身を以て学べたことは私にとつてとても価値ある経験だつたと思ひます。このような貴重な経験をさせていただいた吉田会長、また周りで支えてくださったたくさんの人たちに感謝しております。一年間ありがとうございました。

「役員を終えて」 長期計画委員会 委員長 寸田 敬介

今年度は久しぶりに委員長に選んでいただき、一年間新鮮な気持ちで研修することができました。執行部の役はそれなりに充実しましたが、実行部隊である委員長、副委員長の立場はやはり楽しいものなのだと再認識することができました。自身の経験から幾分余裕をもつて研修することができたかもしれません。浴衣例会が終わつた今、何かが終われば何かが始まるという心境です。卒業される年度に川瀬由香会員と一緒に委員会活動することができて幸せでした。中村君、長期計画委員会の司会は本当に見事でした。これからも、お互い頑張りますよ！

「長期ありがとうございました」

長期計画委員会
副委員長 川瀬 由香

卒業年度での役員。降格なのか？副委員長と異例の人事に驚いて、もう1年とは信じられないほど、本当に早く過ぎてしまいました。最後の役割をひとつひとつ大切にこなしていこうと心がけていながら、結局、委員長にご迷惑ばかり・・・でしたが、新しいOJBの組織の形を作る事に少しは参加させていただけた事をとても嬉しく思っています。そして、最後の年に役員として会に深く関わった事をとても幸せに思っています。選任してくださった吉田会長には感謝。役員の方々、見守ってくださった会員の方々、ありがとうございました。そして最後にこの場をお借りして、13年間ありがとうございました。振り返るとたくさんさんの素敵なドラマがあります。最高の時をいただいたOJB最高です！

「OJB 最高」

長期計画委員会
副委員長 中村 和隆

吉田会長をはじめ、執行部、役員、また会員の皆様には、一年間を通して多大なご指導及びご協力を頂きまして、本当にありがとうございました。寸田長期計画委員長のご指導のおかげで、何となく無事活動をやり遂げる事ができました。僕の嗜れ舞台と言えは、第3回長期計画委員会において司会を担当させて頂いた事です。司会の台本を時間をかけて念入りに作成し準備万端だったため、当日は焦らず落ち着いて司会進行できました。この時はやはり自分で言うのもなんですが、自分が輝いて見えました。本当にこんないい経験ができたので、忙しい中時間を割いてOJBの役員を勧めて下さった吉田会長には感謝の気持ちで二杯です。これからもOJBを通じて成長していけたらと思うと共に、OJBに恩返しできたらと思います。OJB 最高



2枚合わせて49年度役員の皆様が全員が載っている写真になります。一年間本当にお疲れ様でした。

第50年度に向けて

北野新会長にインタビューを
させていただきました。

聞き手・広報委員長 小川智宏
書き手・広報副委員長 清水琢磨
場所・岐阜グランドホテル

いよいよ第50年度がはじまります。
今の心境をお聞かせ下さい。

幹事長を経験していたので、ある程度は分かっていたと思いますが、「段取り八分」という言葉もある通り7月から8月の準備段階が一番忙しいんですね。特に8月は水都まつりがあったり、仕事でも繁忙期だったりして心に余裕が無いせいか、まだ緊張とかプレッシャーとかは感じていません。

ただ、既に会長しか経験できないことも経験したり、新役員が集まって顔合わせをしたりしているうちにワクワク感が高まってきました。充実した楽しい1年になりそうな予感があります。

第50年度のスローガン

「伝統を創造しよう」にはどんな想いが込められているのでしょうか。

第50年度、節目の年であるということ意識しました。何かを50年続けることは実際すごく大変な事だと思います。OJBが50年継続できたのは諸先輩方のお力はもちろんですが、常に理念が素晴らしかったことと活動がその理念に沿って行われていたからではないでしょうか。そういった意味で、第50年度は過去を振り返りながら、OJBの本質を確認し、その上で未来を見据えて活動を考えていく年度になるのではないかと思います。

OJB 第50年度 スローガン

伝統を 創造しよう

第50年度 会長 北野 英樹



「伝統」を継承するということは形を変えないということではなく、本質をよく理解して革新を重ねていく過程ではないかと思っています。それは企業も同じで、同じことを続けていく先に発展はありません。時代を見、環境の変化に対応して変化していくことで継続があるのです。今年度は本質を追求することを意識し、柔軟性と強い意志を持って行動する経営者を目指すという思いを込めて「伝統を創造しよう」というスローガンをしました。

今年度の例会や委員会活動で、
注目してほしいところは、どんな
ところでしょうか。

もちろん、例会の講師選定や委員会の事業もスローガンを意識してのものととなります。

例会に於いていつもと少し違うところは、毎回オープン例会というか条件付きで社員等も聴講できるようにしました。社員を育てるツールにしたいだけでも良いし、研修内容を共有することで、学んだことをより会社に反映しやすくなればと考えました。

委員会活動についても、今年度は出来る限り多くの人を巻き込んで活動するという方針で活動します。委員の方にも積極的に運営に関わっていただくことで、役員以外でもより研修になる委員会活動にしていきたいと思っています。

最後に会員の皆様に向けて、
メッセージをお願いします。

私自身は微力ですが、幹事長を中心とした役員一同の力で、この年度を実りのあるものにしていきたいと思っています。そして、今年度は50周年記念事業もあります。OJB総力を挙げての事業になるので、皆さまのご協力が不可欠になります。よろしくお願いします。

お忙しい中、色々とお聞かせいただき、
本当にありがとうございます。

四季の会

平成27年7月の「四季の会」は、7月24日に「駅前にしき」にて行われました。特別会員9名、現会員7名含め16名の参加でした。

ご参加頂いた特別会員の皆様（入会順に記載）

高木貞博 先輩 第5年度入会
水谷尚博 先輩 第5年度入会
大角吾通 先輩 第8年度入会
鹿野正雄 先輩 第9年度入会
堀富士夫 先輩 第10年度入会
西脇敬治 先輩 第10年度入会
藤井徳充 先輩 第11年度入会
松下武司 先輩 第25年度入会
三輪俊明 先輩 第28年度入会
創立50周年の活動内容についてのご報告と、年度を通してのご協力のお願いいたしました。



今月の「ドネーション」

■小川智宏 会員

体操中体連西濃大会にて長女が中学生の部、全種目1位となり優勝出来ました。

■上野和幸 会員

第2回まちゼミから実行委員長をやることになりました。「まちゼミ」とは商店街のお店の方が講師になってプロならではの知識やコツを教えるというものです。今日ご卒業される吉位会員のオモシロ講座を是非受講してください。

■奥田裕太郎 会員

日々幸せに暮らせております。ありがとうございます。

■加納浩二 会員

8月8日に入籍しました。最終役員会で記念品まで頂いてありがとうございます。

■研修委員会

（片桐大介 会員・高嶋啓一郎 会員）

1年間、研修委員会に皆様のご協力を頂き、誠にありがとうございました。

■会員委員会

（上野和幸 会員・清水裕雅 会員）

会員委員会活動に1年間御協力頂きありがとうございます。

■広報委員会

（田中真奈美 会員・小林諒士 会員）

1年間、ひろばの発行にあたりご協力ありがとうございました。無事に終える事ができました。

■親睦委員会

（大平晃嗣 会員・川瀬竜也 会員）

皆様のお陰で1年間無事に終える事が出来ました。ありがとうございます。

■長期計画委員会

（守田敬介 会員・川瀬由香 会員・中村和隆 会員）

■吉田大助 会長

1年間ありがとうございました。

来月の「お知らせ」会員の皆様、ご参加お待ちしております。

第1回講師を囲む会

（親睦委員会）

・日時

9月9日（水）
21:30～23:30

・場所

ラウンジ 紫苑
大垣市本町1-71

TEL

0584-74-3001
・会費 4,000円

合同委員会

（各委員会ミーティング）

・日時

9月14日（月）
19:00～21:00

・場所

いずみ庵
大垣市築捨町4-78

TEL

0584-89-6889
・会費 5,000円

合同委員会二次会

（親睦委員会）

・日時

9月14日（月）
21:30～23:30

・場所

スリーキャッツ
大垣市本町1-9

TEL

0584-74-7330
・会費 3,500円



昨年度の講師を囲む会風景



昨年度の合同委員会風景



昨年度の合同委員会二次会風景

皆様への「お願い」

「第50年度会費納入のお願い」

会費納入額（上期）35,000円
（通期）70,000円

納入期限・平成27年9月30日（水）

9月総会にて第50年度概況資料および8月31日配信（予定）の資料を使用します。当日は、必ずご持参ください。

広報委員会より

今月より、第50年度広報委員会にて「ひろば」の制作を開始いたしました。皆様に興味を持っていただける紙面づくりに励んで参りたいと思っております。また、皆様のご支援・ご協力の程、何卒、宜しくお願い申し上げます。

広報委員会 委員長 小川智宏
広報委員会 副委員長 清水琢磨